

# 福島森林管理署が取り組む獣害対策

～ニホンジカに対峙する者達～

## はじめに

平成の終わりごろ、郡山市内の造林地を踏査していると、獣の足跡や齧端と枝が消失している植栽木を発見した。

「ついに中通りにもシカが来たか?!」

この時から、福島県の野生鳥獣保護管理検討会への参画や、地元猟友会の協力を得て、ニホンジカによる食害への対策を進めることとなった。



(郡山市三穂田町妙見山国有林201ち林小班)

## 1. 福島県のニホンジカ生息状況と捕獲実績

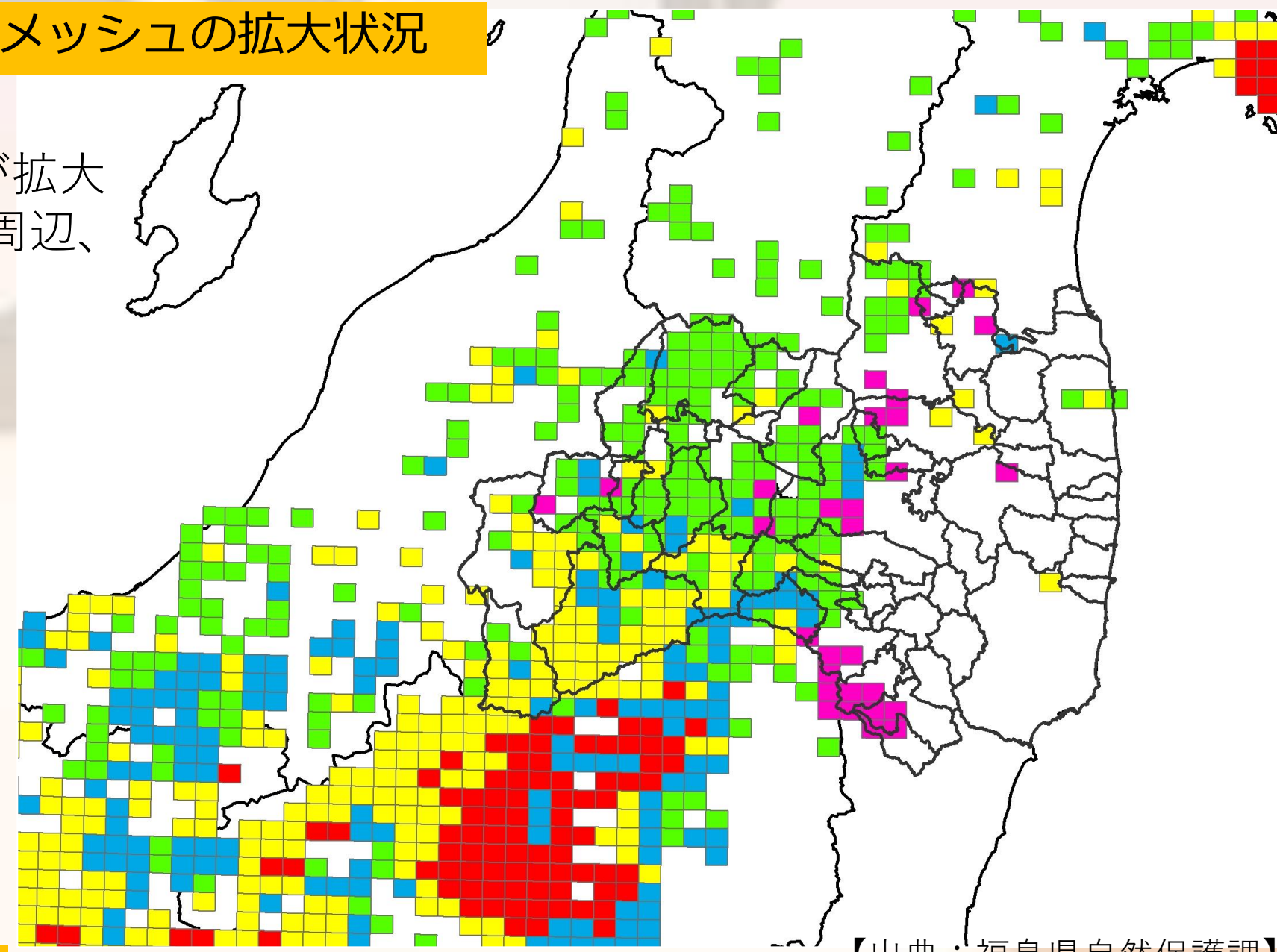
福島森林管理署が参画している福島県野生鳥獣保護管理検討会（ニホンジカ）の令和5年度の資料によれば、福島県周辺の生息状況と捕獲状況は以下のとおり。

### 福島県とその周辺におけるシカ生息確認メッシュの拡大状況

生息確認メッシュの変化

- H26年度には会津地方北部に生息地が拡大
- R1年度には中通りの一部や八溝山系周辺、阿武隈地域でも生息も確認。

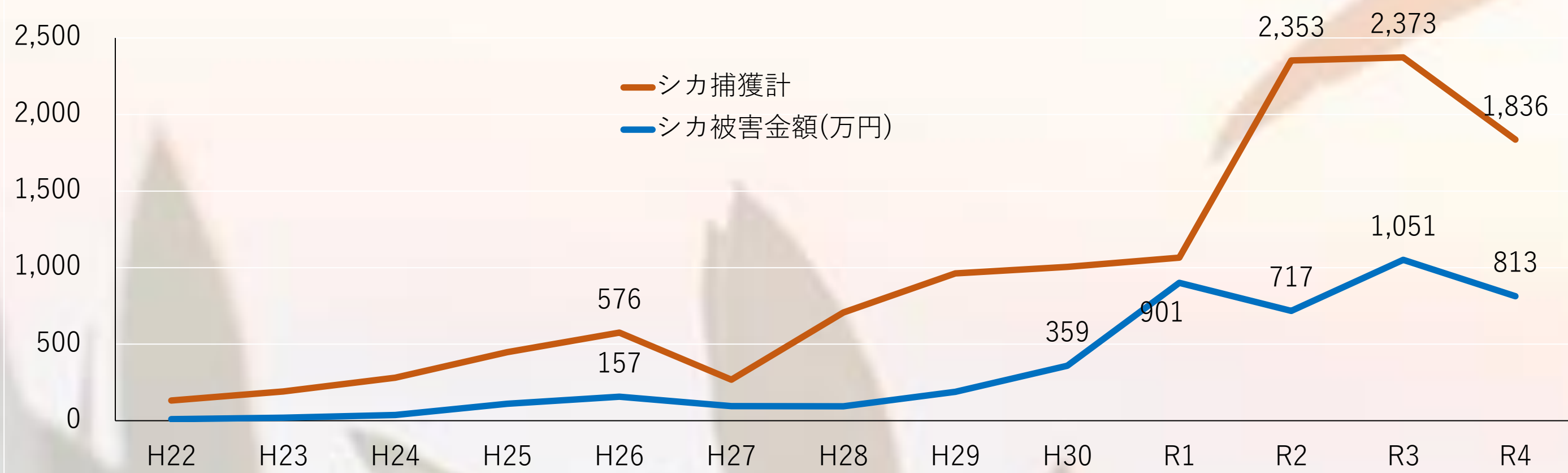
- 1978年(S53)自然環境保全基礎調査
- 2003年(H15)自然環境保全基礎調査
- 2011年(H23)捕獲位置情報に基づく調査：環境省
- 2014年(H26)目撃情報等による調査：環境省
- 2021(R3)年度生息確認メッシュ(福島県確認)
- ・ H15-R3メッシュはそれぞれの年度で新たに生息が確認されたメッシュを追加
- ・ R3年度生息確認メッシュは、H30-R2捕獲及びR1-R3実地調査結果に基づく



【出典：福島県自然保護課】

### 福島県におけるシカ捕獲数の年次推移

福島県におけるニホンジカの捕獲数は、R1⇒R2と急増したが、R3は高止まり、R4はR3から537頭の減(前年比-22.6%)と大幅に減少した。



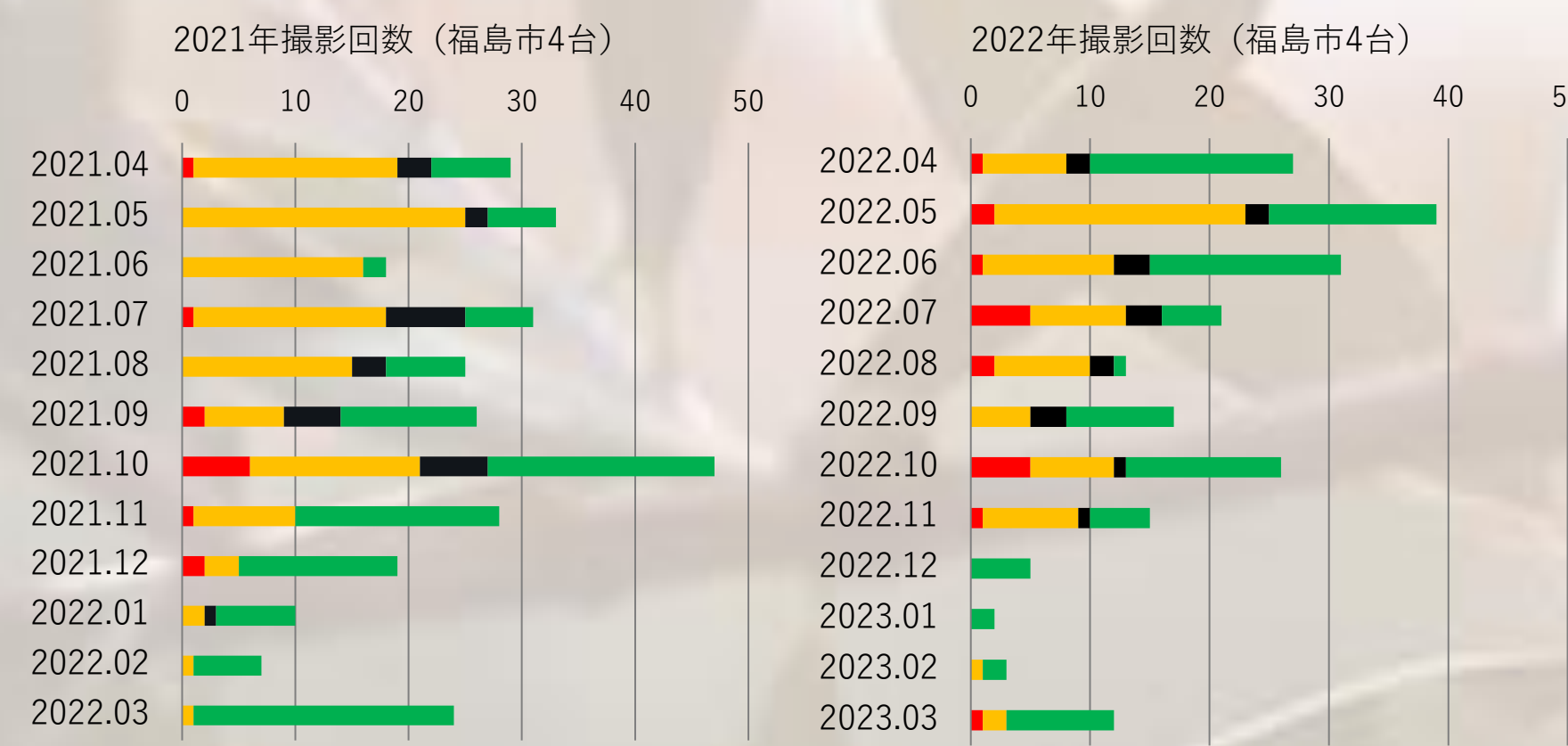
【出典：福島県自然保護課】

## 2. 国有林でのモニタリング

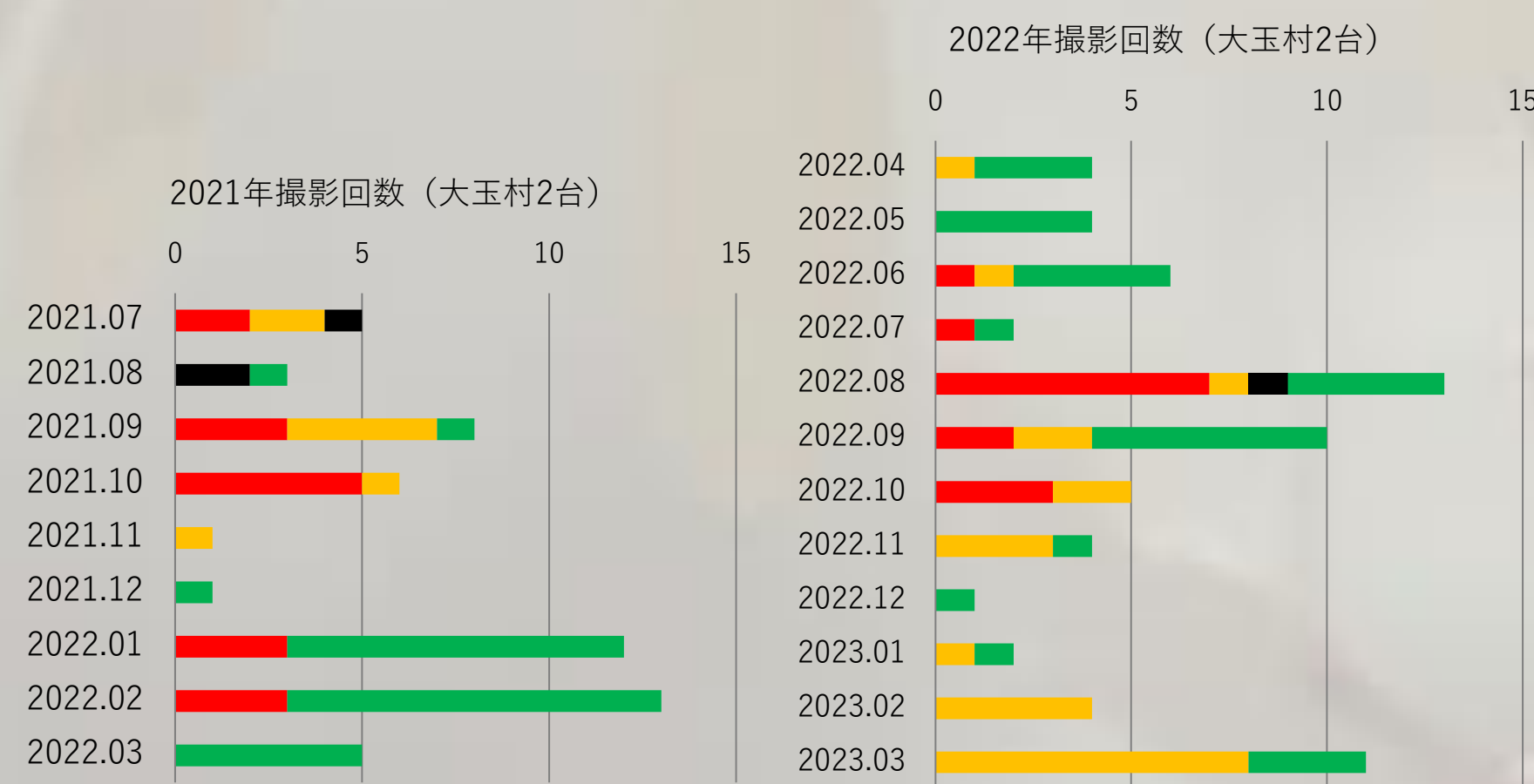
国有林内の生息状況を把握するため、福島市、大玉村、郡山市に計16台のセンサーカメラを設置。

### センサーカメラ撮影結果

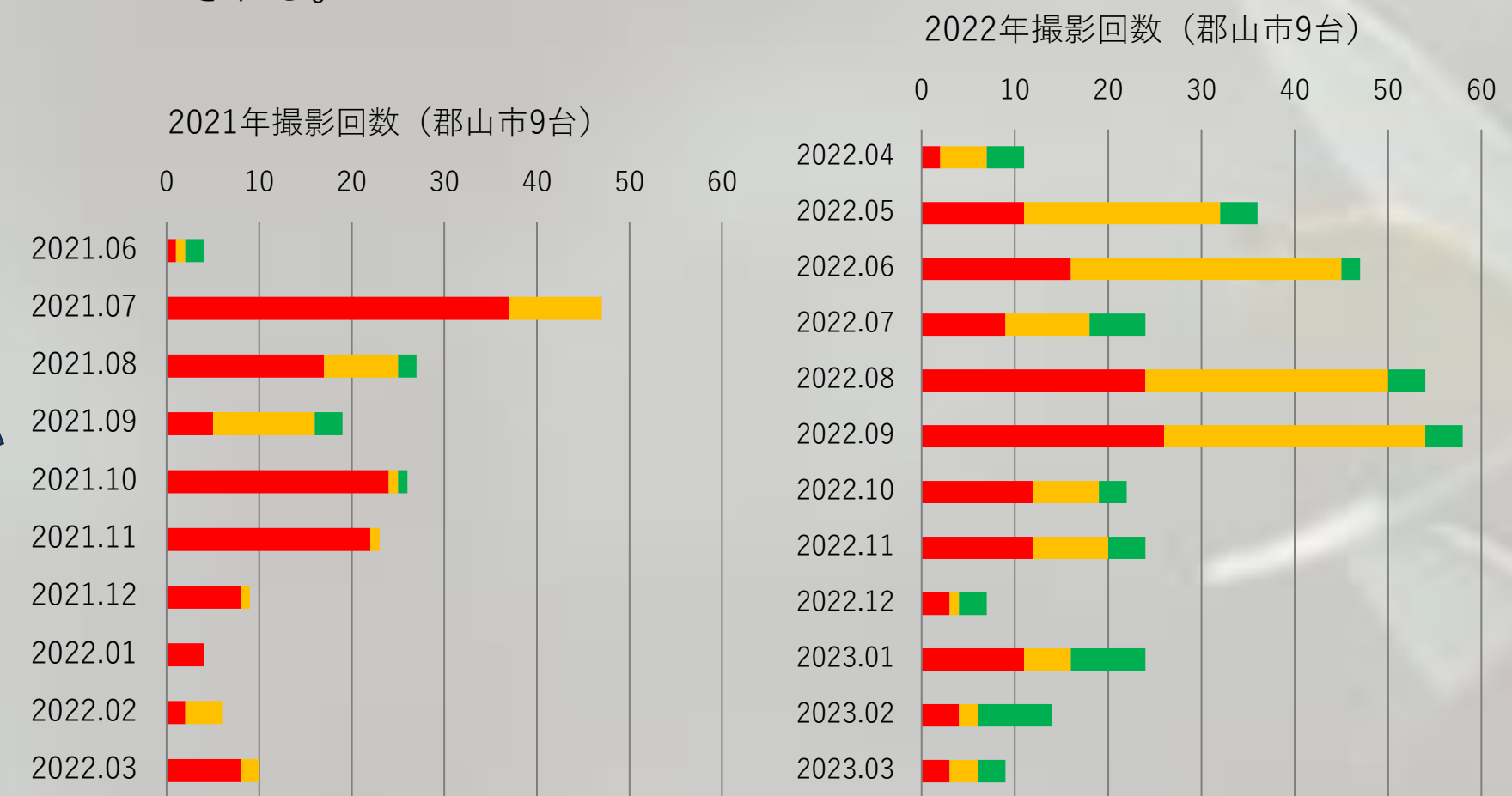
【福島市】主にカモシカ、イノシシ、ニホンザル、ツキノワグマが出現。ニホンジカの出現は僅かである。



【大玉村】主にカモシカ、ツキノワグマ、ニホンジカが確認出来る。カモシカの出現頻度はニホンジカを上回る時もある。



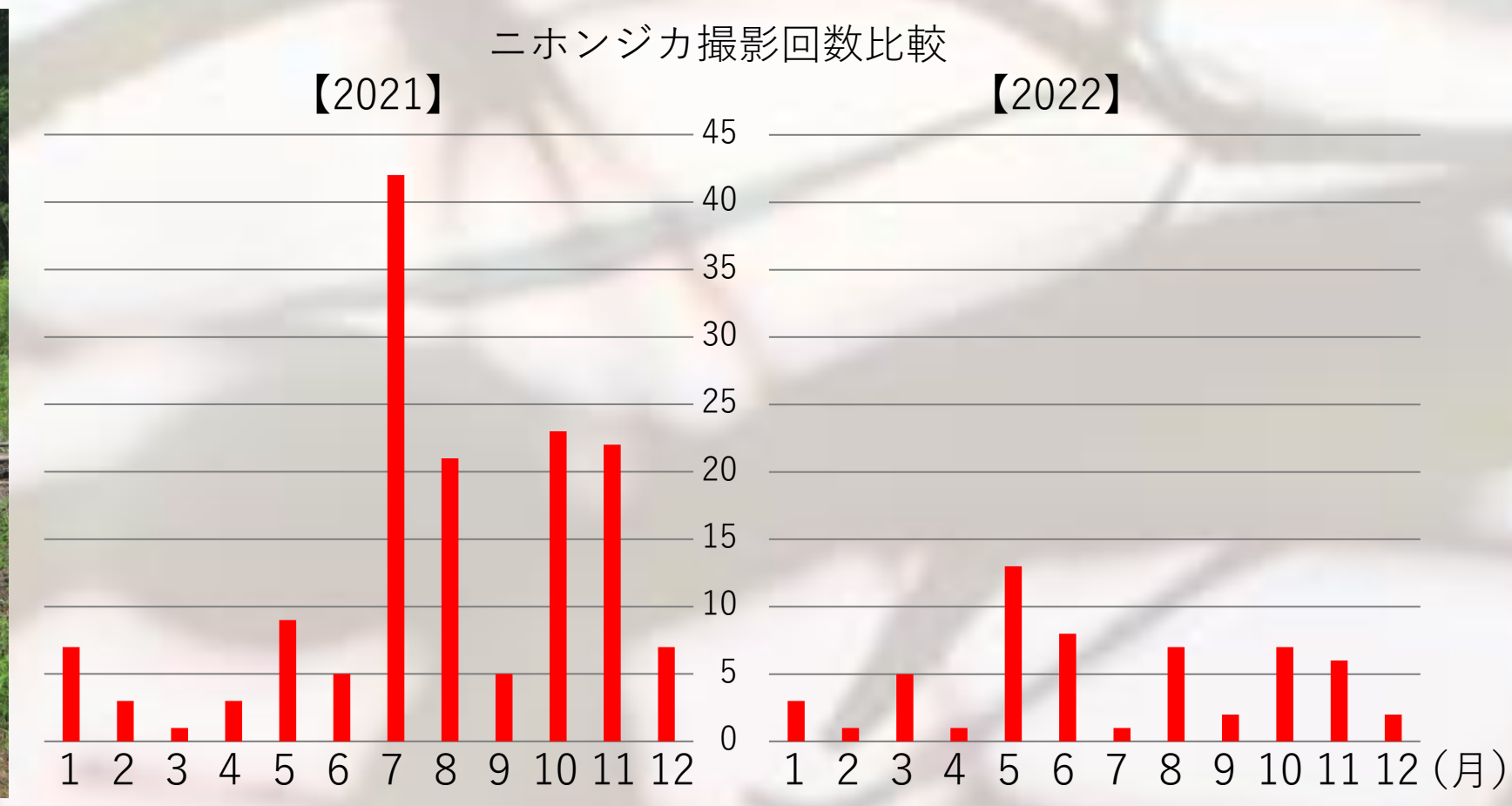
【郡山市】ニホンジカが多く、次いでカモシカ、ツキノワグマ、その他が確認される。



その他：ウサギ、キツネ、テン、タヌキ、ハクビシン、イノシシ、ニホンザル等

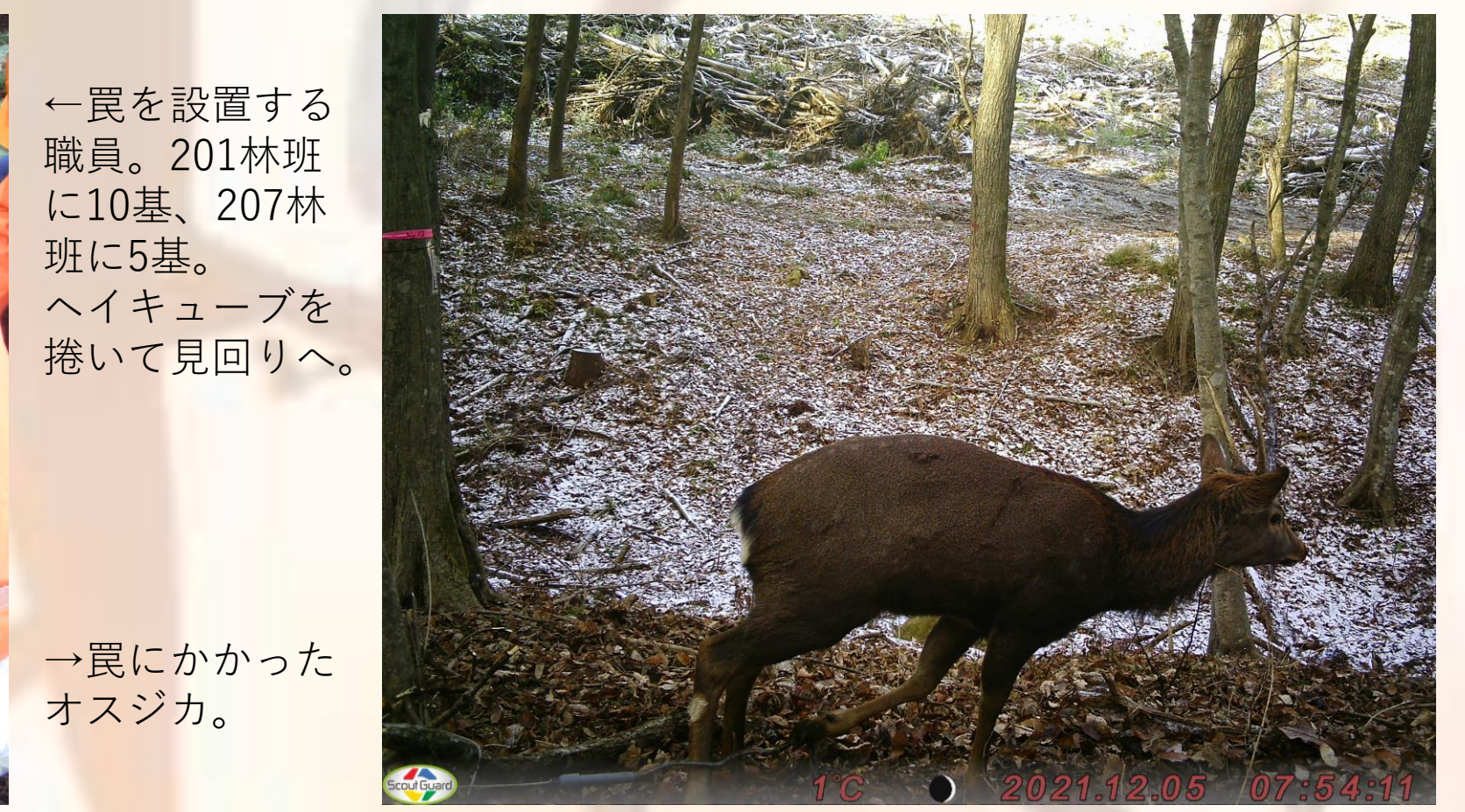
## 3. 忌避剤散布と有害鳥獣捕獲

モニタリングの結果や現地の被害状況を踏まえ、ニホンジカの出現頻度が高く、新植箇所が多い地域において重点的に対策を進めることとし、郡山市と大玉村の国有林内で忌避剤散布を、郡山市の国有林内で有害鳥獣捕獲を実施している。



忌避剤を散布した箇所では、散布以降、顕著な食害は確認出来ず、散布箇所付近ではセンサーカメラに撮影される回数も減少し、猟友会からも目撃する頻度が減ったとの情報が寄せられるなど、一定の効果があつたと考える。

また、有害鳥獣捕獲許可に基づき、くくり罠を用いた捕獲事業を毎年11月～12月の1ヶ月間実施しており、罠の設置から見回り、回収まで猟友会の協力や福島大学の指導を得て職員が実行している。令和2年度はオスジカ1頭、令和3年度にはオスジカ、メスジカそれぞれ1頭を捕獲。(令和4年度はゼロ)



なお、モニタリングでは親子連れのニホンジカが出現しており、生息域の拡大が懸念される。

## 4. 令和5年（2023年）以降の取組

### (1) モニタリングと関係機関との連携

- ・ 県の調査研究にフィールド提供 (R4年から継続して福島県林業研究センターが調査)
- ・ 各協議会に参画

### (2) 捕獲事業の分析と改善、忌避剤活用・普及の推進

- ・ 有識者による現地調査とアドバイス (福島大学)
- ・ 忌避剤勉強会と事業体、森林組合への周知

【令和5年6月16日に実施した忌避剤勉強会の様子】

メーカーから成分や効果、散布方法について説明を受けた後、実際に参加者が散布をして使用感を確認。参加者は福島県職員をはじめ、林業関係事業者等。また、地方テレビ局でもこの模様は取り上げられた。



参考：実施報告URL  
([maff.go.jp](https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/event/230630.html))  
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/event/230630.html>



### (3) 猟友会との捕獲協力の推進 (協定への取組)

- ・ 令和5年4月7日、一般社団法人福島県猟友会郡山支部と捕獲協力の協定を締結。国有林野内での捕獲効率化、情報の共有を一層図るため、定期的な情報交換 (年4回程度) を実施。

## 5. 協力・出典

福島県 生活環境部自然保護課 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035b/>  
福島県 林業研究センター <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37370a/>  
国立大学法人 福島大学 食農学類 <https://www.agri.fukushima-u.ac.jp/>  
一般社団法人 福島県猟友会 郡山支部

参考 © 2018 - 2023 DEER INFO-日本で唯一の鹿情報総合サイト

<https://deerinfo.pro/>

## 6. 主な担当及びポスター制作

地域林政調整官 坂本英男  
森林整備官 (森林育成) 佐藤史佳